

「 きれりと光るまちの人

SMILE UP!

Vol.8

川崎 幹子 さん

KAWASAKI MIKIKO

### 本市の県選出聖火ランナーを務めた大学教員

5月14日に本市で開催された東京2020オリンピック聖火リレーで、沿道に集まった人々の声援を受けて第2区間の約200mを笑顔で駆け抜けた。聖火ランナーに応募したきっかけは、看護を学ぶ学生たちにエールを送りたいという気持ちから。「看護」という、患者の命を預かる責任の重さゆえ、普段は学生たちに厳しく指導せざるを得ないが「厳しいことを言うからには自分自身が頑張っている姿を学生に見せたい」と思った。聖火リレーには卒業生が応援に駆けつけて「先生が頑張っていると私も頑張れる」と言葉をかけてくれた。

大学では、子どもの病気や家族を含めた看護について教えている。これまでに送り出した学生は約800人。学生たちが看護を学ぶにつれて理想の看護師像を語ってくれたり、卒業生が後輩を育てる立場になっていたり、そんな姿をみるのが生きがい、と話す。

大学教員を務めながら、自身も医学博士課程で学ぶ。「博士課程を修了したら、もっと自分の思いを乗せた授業ができるんじゃないかと楽しみにしています」と目を輝かせる。また、災害ボランティアとしても活動。阪神淡路大震災をはじめ中越地震、熊本の地震や水害など、災害の規模に関わらず参加し、被災者の心のケアなどに当たっている。そこには、被災者を支えたいという気持ちはもちろん、学生に生き様を見てほしいという思いもある。

夢は子どものために住みやすい未来を創ること。まずは、子ども食堂を作ることと虐待で苦しむ子どもやその家族を助けたいと考えている。「少しでも地域に貢献したい。私が頑張ることで誰かが救われたら本望です」



Profile・下関市出身市内在住。宇部フロンティア大学人間科学部看護学科准教授。専門は小児看護学と生涯発達心理学。座右の銘は、との質問に2つの言葉を挙げた。1つは看護師国家試験前によく学生に向けて伝えている言葉で「神は乗り越えられる試練しか与えない」。もう1つは医師の日野原重明氏が遺した言葉「keep on going (進み続けよう)」。どちらも自分自身が勇気づけられた言葉。子どもたちと保護犬と一緒に公園で遊ぶことが休日の楽しみ。



えがおがいちばん!!

★対象：小学校就学前までのお子さん

①お子さんの写真(プリントしたものまたはデジタルデータ)②お子さんの名前(ふりがな)③生年月日④年齢⑤性別⑥親の名前⑦郵便番号⑧住所⑨電話番号⑩15文字程度のコメントを記入した申込書を添えて提出(郵送、E-mailでも可)



〒756-8601 山陽小野田市役所  
シティセールス課広報係 (☎82-1148)



よしまる  
吉丸 あかりちゃん (1歳)  
元気にすくすく大きくなあれ!



かわのしゅん  
河野 瞬くん(6歳)・らん  
藍ちゃん(1歳)・りん  
栗ちゃん(3歳)  
これからも兄妹仲良く大きくなーれ!!

